

きた
「北へ」

な な みなと もも はな さ
1. 名も無い 港に 桃の花は 咲けど

在沒有名字的港口 桃花雖然能盛開著

たび まち やす な
旅の町には 安らぎは無いさ

但在旅程的街道中 卻不得安逸

まえ わか むな だ
お前と別れた 虚しさ抱いて

與君一別 而滿懷空虛

おれ あす また きた なが
俺は 明日も 又 北へ 流れる

明日 我也又往北方飄游

まえ やさ さけ う ひとり
2. お前の優しさ 酒に浮かべ 一人

在酒杯裏浮現出溫柔的妳 一人

とお むてき よる さが
遠い霧笛に あの夜を探す

在遠方霧笛聲中 追尋著那一夜

あい
愛していりゃ　こそ　つれなくしたが

雖是愛著妳的話　卻無法　帶妳同行

いま　むね　ゆ　ほほえ
今も　この胸で　揺れる　微笑み

今日也在此心中盪漾著妳的笑容

おとこ　ふ　む　くら　そら　みあ
3. 男は　振り向き　暗い空を　見上げ

男人回頭　仰望黑暗的天空

つけた　たばこ　ふるさと　おも
つけた　煙草に　故郷を想う

已點燃的香煙中　卻思念起家鄉

まふゆ　はまべ　きずあとうず
真冬の浜辺に　傷跡埋め

在冬天的海邊埋藏起傷痕

ゆめ　あきら　きた　なが
夢は　諦めて　北へ流れる

夢想已是斷念了　就往北方飄游